

未来への
文化共創
ウィーク

TEAM EXPO 2025 共創チャレンジ

イベント学会『地球市民』が実現する持続可能な社会の提言

世界自然遺産5地域会議主催

自然保護と
暮らしを両立させる
取り組みの**深化**に向けて

2025 **5/6** (火・祝)
10:30 - 12:30

会場：大阪・関西万博会場内テーマウィークスタジオ

世界自然遺産を有する日本国内5地域の連携で進められてきた対話の成果を発表します。

それぞれの地域で人口減少や産業の停滞、外からの観光圧力などの問題を抱えながら
世界遺産としてかけがえのない自然の保護と地域の経済・社会の活性化とを
両立させるさまざまな取り組みを重ねてきました。
世界自然遺産5地域会議では、万博参加を機に
これまでの実績を踏まえて「自然保護と暮らしの両立」モデルを提示することを目指しています。



白神山地

知床



小笠原諸島



屋久島



奄美大島・徳之島



沖縄島北部・西表島

共創チャレンジによる3つの対話プログラム 同日開催

世界自然遺産5地域会議

いのちをつなぐ
水と地域・地球市民フォーラム

関西・歴史文化首都フォーラム



いっしょに、いこな！
大阪・関西万博



共催：イベント学会、一般社団法人 地球産業文化研究所

2025 **5/6** (火・祝)
10:30 - 12:30

自然保護と暮らしを両立させる 取り組みの深化に向けて

「両立」をめぐる、各地域が共通して
直面している課題について、
先進事例の報告を受けながら、
様々な立場・地域と観点から意見交換を行います。
この議論を通じて、
「両立」のための仕組み・条件や
「両立モデル」のイメージを探ります。

会場 大阪・関西万博会場内テーマウィークスタジオ

●プログラム

5地域の自然を映像で紹介 協力：TBS テレビ番組「世界遺産」
モデレーター：田中 俊徳（九州大学准教授・環境政策・ガバナンス論）

事例報告①「持続可能な利用のための観光管理」（西表）
徳岡 春美（一般財団法人西表財団 事務局長）

事例報告②「多様な主体の参加促進と協働」（知床）
山本 幸（公益財団法人知床財団 事業部長）

パネルディスカッション

- ・ 齋藤 栄作美（秋田白神ガイド協会会長）
 - ・ 渋谷 正昭（小笠原村村長）
 - ・ 洲上 奈央子（ダイキン工業株式会社 CSR・地球環境センター）
 - ・ 中山 洋彦（世界自然遺産推進共同体代表、JAL 鹿児島支店長）
 - ・ 則久 雅司（環境省九州地方環境事務所長）
- * モデレーター：田中 俊徳

コメント

小野寺 浩（屋久島環境文化財団理事長・世界自然遺産5地域会議代表）

全体のまとめ

モデレーター：田中 俊徳

●登壇者プロフィール



田中 俊徳

九州大学アジア・オセアニア研究教育機構准教授
環境政策・ガバナンス論。京都大学博士、元ユネスコ本部
世界遺産センター研修員。国立公園や世界遺産、ユネス
コエコパーク等の保全管理政策を対象に、21世紀型の自然
保護地域のあり方について、ガバナンス論（法制度、行政、
組織）の立場から研究。



渋谷 正昭

小笠原村村長
1982年に筑波大学大学院を修了。1983年に小笠原村入
庁。2004年から15年まで小笠原村の総務課長、産業観
光課長を務め、2015年9月から副村長、2021年9月か
ら現職。エコツーリズムの先駆けとなるホエールウォッチ
ング協会をはじめ、エコツーリズム協議会、村観光局の設
立に尽力。



小野寺 浩

公益財団法人屋久島環境文化財団理事長、
大正大学客員教授
1973年環境省（当時環境庁）に入庁。自然環境局長など
を歴任。自然再生法、外来種法の新規立法や自然公園法
の改正などに多数従事。屋久島や知床、奄美群島を世界
自然遺産登録へと導いた。現在、世界自然遺産5地域会
議代表を務める。



洲上 奈央子（すがみ なおこ）

ダイキン工業（株）CSR・地球環境センター
2003年ダイキン工業株式会社入社。2011年よりCSR・地
球環境センターに在籍し、サステナビリティに関する社内
外コミュニケーション全般を担当。特に生物多様性保全事
業に情熱を注いでおり、「森は地球のエアコン」のキャッチ
フレーズで世界7カ所の森林保全プロジェクトを推進中。



徳岡 春美

（一財）西表財団事務局長
静岡県出身。2003年に西表島に移住。NPO法人西表島
エコツーリズム協会事務局長を経て、2022年の一般財団
法人西表財団設立時に同財団事務局長に就任。西表島の
自然環境保全、文化継承、エコツーリズム推進に取り組み、
「竹富町観光案内条例」「西表島エコツーリズム推進全
体構想」などの制度設計にも携わる。



中山 洋彦

1993年日本航空入社、2024年より鹿児島支店長を務める。
世界自然遺産推進共同体代表。共同体は、奄美大島、徳
之島の世界遺産登録への貢献を目的に発足。遺産登録後
は、保全と活用のため、ロードキル防止対策や質の高い観
光保持などに取り組む。奄美群島の観光関連の企業・団
体を中心に71社が加入（2025年3月）。



山本 幸

（公財）知床財団
神奈川県横浜市出身。大学時代のサークルで初めて知床を
訪れ、以来通うようになる。卒業後は、東京で会社勤め
のち、退職して知床へ。2010年知床財団に入職し、環
境教育などの普及対策や広報事業、公園管理、収益事業
などを担当してきた。現在は、外部パートナーの拡充に向
けて渉外業務も担当している。



則久 雅司

環境省九州地方環境事務所長
1992年、自然系技官（レンジャー）として環境庁入庁。国
立公園、外来生物対策、生物多様性戦略、動物愛護管理
等を担当。釧路自然環境事務所次長、鹿児島県自然保護
課長、環境省自然環境計画課長等を歴任し、各地の世界
自然遺産の保全管理に携わる。2024年7月より現職。



齋藤 栄作美

秋田白神ガイド協会会長
1949年藤里町柏毛生まれ。マタギの祖父と仙父の父の元
で育つ。中学卒業後、北海道、岩手、宮城県で林業に従事。
20代で帰郷し、89年からはガイドを開始。初代白神山
地世界遺産センター藤里館自然アドバイザー。ガイドやメ
ディアを通じて、白神の森の価値と共生の実体験を伝えている。

開催告知 会場：シャインハット



2025 **6/5** (木)
5地域による1day 祭典開催

千の自然・千の時間
私たちと世界自然遺産5地域

国際シンポジウム・子ども作文コンクール
大型自然映像上映・芸能パフォーマンスなど